

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

大腸癌同時性肝転移に対する肝切除先行治療戦略の成績

1. 研究の対象および研究対象期間

研究の対象：当院で大腸癌同時性肝転移に対して原発巣切除に先行して肝切除を受けられた方
研究対象期間：2018年7月から2023年6月まで

予定症例数：30例

2. 研究目的・方法

目的：大腸癌が診断された際に肝転移も伴うような同時性転移に対して、従来は大腸原発巣を切除したのち肝切除を行って来ましたが、高度肝転移では原発巣の外科的治療中に肝転移がさらに進行して切除が困難になる場合があり、このような事象を回避する方法として肝切除から治療を開始するといった肝切除先行治療戦略が行われます。ただし当該治療戦略にはまだ十分なデータ集積がありません。この研究では肝切除先行治療戦略を受けられた患者さんの臨床成績を詳細に解析することでその意義を検討することを目的とします。

方法：当院でこれまでに肝切除先行治療戦略を受けられた大腸癌同時性肝転移の患者さん、および今後この治療を受けられる患者さんの臨床データを集積したのち、3の項で示した各種臨床諸因子に関してデータ解析を行ないます。

研究期間

2020年10月26日～2023年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

背景（年齢、性別、身長、体重、BMI、PS、ASA、既往歴、内服薬、診断名、病期、術前術後化学療法の有無）、腫瘍背景（個数、サイズ、局在、肝外病変の有無）、手術詳細（施行術式、根治度、手術時間、出血量、輸血の有無、遮断方法、再建方法）、病理組織学的所見（腫瘍サイズ、肉眼型、組織型、リンパ節転移の有無、脈管浸潤・侵襲、切除端までの距離、背景肝組織）、治療成績（合併症・偶発症

の有無、在院期間、生存期間、転帰、再発の有無等)、臨床検査データ(血算、生化、凝固、腫瘍マーカー、CT所見、MRI所見、US所見等)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院（消化器・一般外科）

氏名：田中邦哉

住所：227-8501 横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号：045-971-1151

研究責任者：田中 邦哉